

平成 29 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス					
教科目名	環境都市工学基礎演習 I	担当教員	環境都市工学科教員		
学年学科	3 年 環境都市工学科	通年	必修	2 単位	
学習・教育目標					
<b>授業の目標と期待される効果：</b> 環境都市工学に関する各専門科目の基礎的事項を、演習を反復繰り返して行うことによって確実に理解し、応用力を身につける。  ・環境都市工学科の各専門科目（構造力学・水理学・土質力学・コンクリート工学・数値計画学・環境工学・測量学）の基礎的事項の理解		<b>成績評価の方法：</b> 総得点数 200 点＝提出課題点 200 点 総得点率によって学年末評価を行う。  <b>達成度評価の基準：</b> ①環境都市工学科の各専門科目の基礎的事項をほぼ正確（6 割以上）に理解し、説明できる。 ②各専門科目の基礎的な設問をほぼ正確（6 割以上）に解くことができる。			
<b>授業の進め方とアドバイス：</b> 演習を中心に行うので、自分の手で問題を解くことが不可欠である。なお、授業の予定は下記のようなが、苦手な科目を連続して集中的に行いたい場合は、担任と各担当教員の了解のもとで予定を変更することも可能とする。					
<b>教科書および参考書：</b> 各専門科目の教科書や参考書を用いる。					
<b>授業の概要と予定：前期</b>					AL のレベル
第 1 回：構造力学に関する基礎演習（その 1）					
第 2 回：水理学に関する基礎演習（その 1）					
第 3 回：土質力学に関する基礎演習（その 1）					
第 4 回：コンクリート工学に関する基礎演習（その 1）					
第 5 回：数値計画学に関する基礎演習（その 1）					
第 6 回：環境工学に関する基礎演習（その 1）					
第 7 回：測量学に関する基礎演習（その 1）					
第 8 回：構造力学に関する基礎演習（その 2）					
第 9 回：水理学に関する基礎演習（その 2）					
第 10 回：土質力学に関する基礎演習（その 2）					
第 11 回：コンクリート工学に関する基礎演習（その 2）					
第 12 回：数値計画学に関する基礎演習（その 2）					
第 13 回：環境工学に関する基礎演習（その 2）					
第 14 回：測量学に関する基礎演習（その 2）					
第 15 回：前期のまとめ					

授業の概要と予定：後期	ALのレベル
第16回：構造力学に関する基礎演習（その3）	
第17回：水理学に関する基礎演習（その3）	
第18回：土質力学に関する基礎演習（その3）	
第19回：コンクリート工学に関する基礎演習（その3）	
第20回：数理計画学に関する基礎演習（その3）	
第21回：環境工学に関する基礎演習（その3）	
第22回：測量学に関する基礎演習（その3）	
第23回：構造力学に関する基礎演習（その4）	
第24回：水理学に関する基礎演習（その4）	
第25回：土質力学に関する基礎演習（その4）	
第26回：コンクリート工学に関する基礎演習（その4）	
第27回：数理計画学に関する基礎演習（その4）	
第28回：環境工学に関する基礎演習（その4）	
第29回：測量学に関する基礎演習（その4）	
第30回：後期のまとめ	

評価 (ルーブリック)

達成度 評価項目	理想的な到達 レベルの目安 (優)	標準的な到達 レベルの目安 (良)	未到達 レベルの目安 (不可)
①	環境都市工学の各専門科目の基礎的事項を正確に(8割以上)説明できる.	環境都市工学の各専門科目の基礎的事項をほぼ正しく(6割以上)説明できる.	環境都市工学の各専門科目の基礎的事項を正確に説明できない.
②	各専門科目の基礎的な設問をほぼ正確(8割以上)に解くことができる.	各専門科目の基礎的な設問をほぼ正確(6割以上)に解くことができる.	各専門科目の基礎的な設問を解くことができない.